

## 子育て保育園でお花まつり

子育て保育園では5月8日（火）、お花まつりが行われました。

このお花まつりは「降誕会（ごうたんえ）」とも呼ばれ、仏教の創始者であるお釈迦さまが誕生した日を祝うもので、空から甘露の雨が降り、花びらが舞い、お釈迦さまの誕生を祝福したと伝えられることに倣い、花御堂（はなみどう）と呼ばれるお堂に立像の誕生仏をまつり、甘茶をかけて祝うものです。

本来のお花まつりはお釈迦さまが誕生したと伝えられる4月8日に行われますが、子育て保育園では、この時期なかなか花がそろわないため、1か月時期をずらして毎年行われています。

この日は子育て保育園の園児らおよそ110人が参加、雲昌寺まで歩いていき、雲昌寺住職の中村園長先生のお話を聞き、花御堂の誕生仏に甘茶をかけて参拝しました。

参拝のあと園児たちは甘茶をのみ、中には何杯もおかわりをする園児がいるなど、お花まつりを楽しみました。



上手に甘茶をかけられたよ



中村園長先生のお話



あま〜いお茶、おいしかったよ

## 第1 保育園の園児と菜の花館入所者らが交流



おじいちゃん、おばあちゃんの前でお遊戯を披露



おじいちゃんと一緒に餅つきをしました

第1 保育園では5月2日（水）、隣接する特別養護老人ホーム「菜の花館」の入所者と交流会を開催しました。この交流会は、子どもの日にちなみ行なわれたもので、この日は保育園の年長さんが歌やお遊戯をするなど、菜の花館内で入所者と一緒に楽しみました。

また5月12日（日）には、赤城高原農業観光協会の主催による交流会が開催されました。

これは、隣接しあう第一保育園と「菜の花館」の交流のお手伝いをしようと、赤城高原農業観光協会が昨年より開催して今年で2回目。

当日は、赤城高原農業観光協会員の他、第1 保育園の園児や「菜の花館」の入所者、職員らが参加。園児がついた餅を使ったイチゴ大福やその場で作った手作りこんにゃくのみそおでんなどが振る舞われました。

## 村内各保育園・小中学校が交通安全教室を実施



4月から6月にかけて、村内各保育園・小中学校では「春の交通安全運動」の一環として、交通安全教室が行なわれました。

第2保育園では5月10日（木）に行なわれ、交通安全の紙芝居や沼田警察署の吉岡さんの講話を聞きました。

講話の後には、園庭で横断歩道の渡り方を練習。実際に道路での横断にも挑戦しました。

また、各小中学校では、自転車の乗り方の練習が行なわれ、東小、南小の2校では自転車の試験が行なわれました。

自転車の試験では、交通指導員さんが自転車の乗り方について実演、児童は模擬信号などが使われた練習コースでそれぞれ真剣に試験を受けました。

- ①横断歩道ちゃんと渡れたよ
- ②道路は危険がいっぱい!!
- ③お巡りさんのお話も聞きました
- ④練習だけど緊張しちゃうな

## 昭和村安全会が春の交通安全街頭指導

昭和村安全会は5月11日（金）、交通安全の街頭指導を行いました。

場所は森下信号付近と貝野瀬信号付近の2カ所。

参加した村安全会員や交通指導隊員、沼田警察署の警察官ら21名は、午後5時より各交差点でティッシュやチラシを配り交通安全を呼びかけました。



街頭指導を行う昭和村安全会